

ひまわり



議会だより

No.25

2016.4.18

発行編集：日之影町議会報編集委員会

宮崎地区日之影町人会総会



宮崎地区日之影町人会（2月28日宮崎）

平成28年度予算審査特別委員会報告・総括質疑	pp.23
条例改正等1総務・経常・任委員会所管事項調査報告	pp.24
全国特別功労者表彰・第11回及び第2回臨時会	pp.25~27
一般質問	pp.28
平成27年度一般会計補正予算（第4号）等	pp.29
平成27年度特別会計補正予算・議会のつどき	pp.30

3月定例議会

第1回定例会は、3月4日に開会し、所管事務調査報告・条例制定2件・条例改正5件・過疎計画策定1件・町道路線廃止4件・町道路線認定3件・西臼杵広域事務組合規約変更1件・補正予算8件・当初予算8件・議員発議2件・議長発議2件は原案のとおり可決した。

一般質問には5名が登壇し、町長・教育長に質問、3月18日に閉会した。

予算審査特別委員会 委員長報告

一般会計予算は前年比当初5.4%減の45億9千万円の編成である。特別会計についても対比減額となっている。

総括意見としては交付税等の依存財源での予算編成が基本となることから、国の動向で予算の不透明感は否めないと考察するものである。他方、財政面からみる本町の位置付けは、起債の減少や基金の積立てなど努力もし、健全な行財政運営には一定の評価は出来る。

今後求められることは、世界農業遺産やセラピー基地の認定10周年と、今後登録予定と思われるエコパーク等は商標と位置付けし、新予算獲得の提案能力と意識の改革や発想の転換が今まで以上に求められると思う。第5次長期総合計画を最上位とし、過疎計画と地方創生の計画達成の予算担保は基より、大事なことは官民一体の意識の醸成が求められる事になる。

また、病院経営については、昨年多額起債が終了し、経営改善の節目でもある。今後は当初予算組み方の検証も進めつつ、情報収集に努めれば新たな展開も得られる。更に委託料等の検証も望むものである。



経済建設常任委員会総括質疑

- 1、農業法人化組織設立に向けての取り組みと問題点について問う。
- 2、林業家の高齢化、有害獣の被害が後を絶たないなか、町単独の支援策について問う。
- 3、定住促進と雇用創出に向けた取り組みについて問う。
- 4、国道に繋がる地方道の整備について問う。
- 5、世界農業遺産の認定、エコパークの登録が見込まれるなか、水源の里振興に於いても一体的に捉え、この活用をどう生かしていくのか問う。
- 6、有害獣駆除班に対する活動補助や、狩猟免許の新規取得の推進、更に捕獲した鹿・猪の有効活用について問う。

総務文教常任委員会総括質疑

- 1、第5次長期総合計画・過疎地域自立促進計画、更には地方版総合戦略等運動させて取り組むとあるが、具現化させていく基本的な考えを問う。
- 2、「移住支援コーデイネーター」を活用した移住希望者への空き家情報の充実と利活用について目標値とプロセスについて問う。
- 3、防災対策については、今後も火災や救急・救助等のほか消防団との連携が必要と思われる。特に要援護者の避難態勢・計画について所見を問う。
- 4、学校教育の中の、社会性の基礎能力の育成、更なる学力向上策、新規事業の「公費負担による学習塾」のねらい・概要を問う。
- 5、町立病院は依然として経営内容の厳しい状況にある。同じ課題を抱える西臼杵3町の国保病院が協力・連携し僻地公立病院の在り方を議論するとあるが所見を問う。

条例の制定2件

- 1、行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
行政不服審査法の全部改正により、関係条例の整備を行う必要が生じたため。

- 2、日之影町出産祝い金支給条例の制定について
本町に住所を有する出生時の父又は母に対して出産に伴う諸費用の軽減を図るため。

条例改正5件

- 1、日之影町職員定数条例の一部を改正する条例
効果的な人員体制の整備と効率的な行財政運営を行うため。

- 2、町長、副町長及び教育長給与条例の一部を改正する条例
人事院の勧告に従い特別職に係る期末手当の支

給月数を0・05月引き上げるもの。

給月数を0・05月引き上げるもの。

- 3、日之影町議会の議員報酬費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
人事院の勧告に従い特別職に係る期末手当の支給数を0・05月引き上げるもの。

- 4、日之影町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院の勧告に従い給与表の水準を0・4%、期末勤勉手当の支給月数を0・10%引き上げるもの。

- 5、特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
地域おこし協力隊の設置に伴う特別交付税の算定対象について、隊員の経験や受け入れ自治体の地理的条件を勘案して報酬月額を町長が定める基

準により算出した額に改定するもの。

過疎計画策定1件

- 1、過疎地域自立促進特別措置法に基づき、平成28年度から五ヶ年の日之影町過疎地域自立促進計画の策定

町道路廃止4件、町道路線認定3件

- 1、森林基幹道の整備に伴い日之影町道路線（乙女高城線）の廃止
- 2、森林基幹道の整備に伴い日之影町道路線（大人高城線）の本路線の一部の廃止と認定
- 3、国道218号高千穂日之影道路平底トンネル坑口付近の盛土となる為、日之影町道路線（平底小崎野線）の廃止と認定
- 4、国道218号高千穂日之影道路平底トンネル坑口付近の盛土となる為、日之影町道路線（平底一の水）の廃止と認定

総務文教所管事務調査報告

〈期 日〉

平成28年1月26日

〈場 所〉

町内4小学校

〈事 項〉

- ①複式学級の現状について
- ②親子給食の現状について

〔所 見〕

複式学級については、各校とも先生方の情熱と愛情を持った指導がなされ、単式学級と比べても何ら遜色はないと思われる。

親子給食についても、食材のうま味、温度管理等を含め出来たての料理が安全・安心に配食され充実していた。

今後は放課後教室の運営面で、自宅学習の習慣化の推進が必要と思われる。



経済建設所管事務調査報告

〈期 日〉

平成27年12月25日

〈場 所〉

温泉駅・小径木加工場・栴木住宅団地

〈事 項〉

- ・温泉駅の木質資源利用ボイラー整備事業及びストック場所
- ・栴木住宅団地の進捗状況と現地調査

〔所 見〕

・バイオマス燃料の確保が心配されるなか、一般の林業家が持ち込む際の単価や対応、また安心・安全対策等の検証を行なった。

・人口減少の歯止めとなる公営住宅地であるが、国道に近く、出入時の危険性があることから、横断歩道や信号機の設置は出来ないか、安心・安全対策の検証を行なった。



温泉駅ボイラー施設

全国特別功労者表彰を受章

平成28年2月18日第67回宮崎県町村議会
議長会定期総会において（伝達）甲斐徳仁議員が
全国特別功労者表彰を受章されました。



第1回臨時会

（平成28年2月12日開催）

・ 固定資産評価審査委員
会委員（補欠）の選任に
ついて

平田 武利 氏
（八戸上）

・ 固定資産評価審査委員
会委員の選任について

馬場伊左子 氏
（新日之影上）

・ 日之影町税条例等の一
部改正する条例の一部
改正について

マイナンバー（個人
番号）再度一部の取り
扱いの見直し変更の改
正。

・ 公有財産の取得につい
て（戸川岳分収林立木
購入）

戸川岳町有地（徳富
・ 中尾・戸川）に分収
造林契約締結取得に関
する件。



ポルタリング（仲組）



おかげさんマルシェ（3月19・20・21日）



第2回臨時会

（平成28年3月30日開催）

今回の補正は、国の地
方創生加速化交付金事業
に伴う、県補助金の交付
を受けて実施する事業と、
あわせて特別交付税交付
決定に伴う補正が主なも
ので、主に10周年を迎え
た「森林セラピー基地機
能強化事業委託等」を
含む「地方創生加速化交
付金事業費」が主な歳出
となる。

歳入歳出1億2,246万
2千円追加
平成27年度の歳入歳出
予算の総額を51億1,93
8万4千円とする。



桜ウォーキング（3月27日）

一般質問

「人口減少対策と町づくりについて」

飯 干 静 香

■急いでほしい安心安全な住宅を

問 移住者への対応策は。

町長 情報発信・相談拠点「宮崎ひなた暮らしU-Jセンター」が昨年の4月に、東京・宮崎に開設されたことで、今後の移住事業の推進が期待される。

移住されている方々の相談や生活全般のサポートをしていただく「移住支援コーディネーター」を配置する。

問 環境の整備は。

町長 住居の確保のため、空き家の活用の強化をしていく。移住・定住施策を担当する体制を強化していく。

問 定住施策は。



町長 住環境の整備・雇用の確保に取り組み。

結婚や出産の為に増改築支援策については検討していく。

問 今後の住宅予定地は。

町長 インフラの整った宮水・椎谷地区等を検討している。

■街中に活気を？

問 中央地区の商工業環境づくりは。

町長 空き店舗を活用した企業・創業については「ふるさと企業応援事業」を拡大支援、更に「チャレンジショップ」の取り組みも支援検討して、併せて今後も商工会等と連携して事業を進めていく。

問 8月11日の「山の日」のイベントは。

町長 夏のお盆前の時期に定められていることから、当日のイベントの予定はないが、「山の日」の趣旨普及は、他の推進計画の中で支援していく。

「行政経営としての見解を伺う」

甲 斐 睦 彦

問 一般会計当初予算に於ける近年の経常収支比率の推移と健全であるとされる75%の数字を見据えた中で、行政経営としての判断も必要と考えるが見解を問う。

町長 経常収支比率の推移については、ここ数年横ばい状況である。市町村平均より下回っており、現在、県市町村課より改善に向けた指導は受けていない。経常収支比率の数値は極めて重要である事から毎年監査員の意見を付して報告している。

「観光行政について」

佐保 満男

「平成28年度教育行政の執行方針について」

問 本年度の「社会教育」「学校教育」「学校運営」についての取り組みを問う。

町長 新しい時代を切り開く人材の育成と生きがい、に満ちた心豊かな町民の実現を目指して、家庭教育、学校教育、社会教育、それぞれの領域や分野の有機的連携を密にしながらか教育施策に取り組む。



問 北方延岡道路開通から一年、道の駅等の観光客の増加に繋がっているか問う。

町長 北方よつちみろ屋の集客増に伴い、道の駅青雲橋は一時期減少したが、今は回復基調。温泉駅の入湯客は、若干増えたが観光客の増加に繋がったとは一概には言えない。今後は、道の駅青雲橋の認知度を高めると共に青雲橋ならではのサービスや商品づくりに取り組んでいきたいと考えている。

問 道の駅の案内板は必要性を問う。

町長 今後の集客の為に看板は必要である。世界農業遺産の認定に伴いフオレストピア圏内での統一したロゴマークを活用した看板を新年度に作成設置する。



問 道の駅のリニューアルについて問う。

町長 道の駅リニューアル検討委員会を立ち上げ、リニューアルに向けて本格的に検討を始める。

問 温泉駅は営業開始から20年経過した。メンテナンスすべき所が多く発生していると思いが問う。

町長 大規模なリニューアルを行う時期に来ている。長期間の休業も必要となる事も考えられ、財源の確保・施工期間等併せ検討しているところである。

問 木質ボイラー設置に伴い駐車スペースが減少するが、その対応策を問う。

町長 水防災事業が予想以上に遅れた事から、第2駐車場整備と併せ、駅の駐

輪場の撤去を行い、車をTR鉄道敷に乗り入れ可能にして、臨時の駐車場を整備する考えである。

問 時代は交通体系を含め我々の予測を超えた変化をしていくものと思う。

道の駅のリニューアルについては、将来を見据えて、国道沿いに道の駅と温泉をセットで設置する考えはないか問う。

町長 将来的には検討の必要がある。

問 担当課と道の駅職員とのコミュニケーションが欠けているのではと思うが問う。

町長 そのようなことがないよう、解消に向けて努力する。

「地方創生について」

甲斐健司

問 本町地域総合戦略の進捗状況及び課題について問う。

町長 地域消費喚起生活支援型の商品券を発行した。また、仕事と人の好循環の確立を目的とした、地方創生先行型交付金については31,663千円の交付を受けて、ほぼ全額を執行する予定である。課題については、事業推進の為に、財源の確保が大事であるが、27年度国の補正で地方創生加速化交付金1,000億円が示され、本町分の事業費が世界農業遺産関係で、51,432千円である予定。しかし年々予算が減少しているのが実態であるので、国に自治体の裁量によりある程度自由に使える予算措置を要望している。



問 課題の一つには町民の事業への理解が必要ではないか。

町長 町民の参画と協力がなければ、地方創生は前進しないと考えている。更に、取り組みを町民に分かりやすい形で周知している。

問 地方創生の流れが直しや道州制の導入に繋がるものと、考えられることもないか。

「行政運営について」

一水輝明

問 町制施行65周年を迎える年にあたり、記念式典等も計画されているが、改めて町長の所見を問う。

町長 昭和26年1月1日に旧岩井川村と旧七折村とが合併し、65周年の節目の年であります。改めて、先人のご努力に敬意を表し、森林セラピー基地認定10周年と併せて、各種イベントの充実を図り「住んでみたい、住んで良かったと誰もが実感できるまちづくり」を目指す。

問 記念式典、「ひのかげ渓谷まつり2016」の日程と内容について問う。

町長 同様に思っているが、町村会としては反対している。

町長 記念式典は9月下旬に、渓谷まつりは10月22日・23日に計画している。内容については、実行委員会で検討中だが、ロゴマークの選定も投票で行っており、併せて町制施行65周年記念町勢要覧も作成する事としている。

「社会教育について」

問 日之影町神楽保存会の現状と課題について問う。

教育長 現在27地区の保存会があるが、8地区では休止状態にある。この原因は人口減少による保存会の高齢化や後継者不足による神楽離れによるものと思われる。今後後継者の育成に努めている。

問 第30回神楽まつりについて問う。

教育長 世界農業遺産に認定される中、その保存・継承をしていくことの重要性を再認識している。現在、休止中の保存会とも協議を行い、「町制施行65周年第30回神楽まつり」を成功させていく所存である。

問 各地区の神楽保存会への補助金の考えはないかを問う。

教育長 現在、日之影町神楽保存会と4つの神楽愛護少年団へ助成を行っている。各地区の助成金については今後検討していく。



■平成27年度 一般会計補正予算(第4号)■

歳入歳出補正
補正後の総額

△9,239万円減額
49億9,692万円

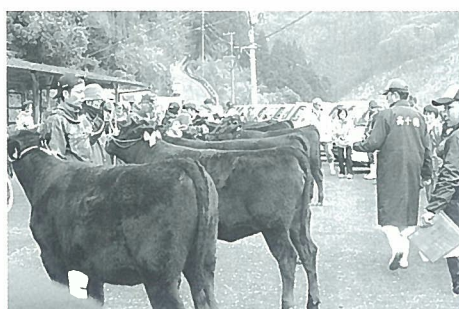
今回の補正は、歳入においては、普通交付税の増額、歳出においては、人事院勧告に伴う人件費、病院事業会計繰出金、地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業費並びに事業費確定に伴う補正が主なものです。

♣歳入の主なもの

町 税 (町民税等)	1,489万円追加
地方譲与税 (自動車重量譲与税等)	800万円追加
自動車取得税交付金	400万円追加
地方交付税 (普通交付税)	2億2,834万円追加
分担金及び負担金 (農地災害復旧費分担金等)	△449万円減額
国庫支出金 (障害者自立支援給付負担金等)	△540万円減額
県支出金 (農業水利施設保全合理化事業及び 森林整備地域活動交付金支援事業)	△2,983万円減額
財産収入 (物品売払収入)	100万円追加
繰入金 (公共施設等整備基金繰入金等)	△2億6,832万円減額
町 債 (住宅団地整備事業債等)	△4,060万円減額

♣歳出の主なもの

総務費 (コンピュータプログラム変更委託料)	△154万円減額
民生費 (児童福祉施設型給付費扶助費等)	△681万円減額
衛生費 (病院事業繰出金等)	6,240万円追加
農林水産業費 (農業水利施設保全合理化事業及び 中山間地域総合整備事業分担金等)	△1億2,858万円減額
商工費 (温泉駅木質バイオマスボイラー導入事業等)	△1,518万円減額
土木費 (町道改良・舗装事業等)	261万円追加
消防費 (消防団員報酬等)	△133万円減額
教育費 (県大会等派遣費補助金等)	△105万円減額
災害復旧費 (農地災害復旧事業及び土木災害復旧事業等)	△447万円減額



子牛品評会



椀木住宅団地

意見書 「採択」

◆軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書

1. 教育機関での周知徹底と対策
2. 専門医による早期診断と適切な検査の実施
3. 周知・啓発・予防措置の推進と相談窓口の設置
4. 園内・学校内で発生した重大事故の繰り返しの防止

■「2020年東京オリンピック」(日向市小倉ヶ浜会場)サーフィン競技大会招致に関する陳情書の決議

議会にご案内を頂き
ありがとうございました。

- ・岩井川神社例大祭
- ・小崎神社大祭
- ・平清水高九神社大祭
- ・徳富神社大祭
- ・八戸上神社大祭
- ・深角駅桜祭り

議会傍聴のご案内

次回の定例会は6月です。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。議会に対するご意見・ご要望等お聞かせ下さい。

♣お問い合わせ
議会事務局

☎87-3908

意見交換会

〔1月27日 商工会〕



〔3月23日 西臼杵広域行政事務組合議会定例会〕



祝 日之影町内卒業式



宮水小学校



八戸小学校



高巣野小学校



日之影小学校



日之影中学校

編集後記

8人の議会構成がスタートし、新体制の議会報編集委員5名による議会報も、今回で6回目の発行となります。

私達議員は、町民のための代弁者となり、様々な事に取り組んでおりますが、どうすればもっと議会に関心を持っていただけるのかと苦慮しております。「議会だより」だけでは、納得のいくものにはならないかも知れませんので、一般質問・総括質疑・各委員質問等もありますので、議会傍聴を少しでも多くの方々に来ていただくことで、ご理解をしていただければ幸いです。

飯 干 静 香

発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 飯干静香

副委員長 甲斐睦彦

委員 河野 學

委員 一水輝明

議員 & 対談

(西臼杵広域消防署 三星消防長と杉本議長)

【杉本】西臼杵郡民の長年の懸案であった、広域消防常備化がなされ1年が経過しましたが、今日までの感想をお聞かせ下さい。

【三星消防長】非常備地域三町のみ消防常備化であるため、初めて消防の仕事に取り組む職員が多いことから、車両や資機材の取扱い訓練等のもとより、それぞれの地域の地理や水利等の把握に重点を置いて取り組みながら、救急出動や火災等の災害に対応して参りました。

町民の皆様の消防に対するご理解、ご協力をいただきまして、大きな事故や災害もなく1年が経過しましたことに感謝申し上げます。

【杉本】日之影町に於ける救急業務のより効率化・迅速化について考えがあれば伺います。

【三星消防長】そのためには、地域の皆様の協力が必要です。救急車を必要とするときは、落ち着いてゆっくりと、場所（目標や道路の状況等）や傷病者（急病人やけが人等）の的確な情報を通報して下さい。119番の通報を受けると同時に隊員は出動していますので、慌てずに指令室員に内容を通報して下さい。詳しい情報は出動中の救急隊員が無線や携帯電話で確認して現場へ向かいます。なお、遠隔地に於いては可能であれば、傷病者を自家用車等で搬送してもらい、救急車とドッキングすれば（落ち合うことで）より迅速化が図れます。また、固定電話からの通報のほうが、より速く場所の確認ができます。

【杉本】ドクターヘリとの連携について伺います。

【三星消防長】ドクターヘリの要請の判断は、指令室員が119番通報を受けた時点もしくは救急隊員が現場に到着した時点で判断し要請しますが、到着までに約20分から30分を要します。日之影町にはランデブーポイント（ヘリの離着陸場）が、癒やしの森運動公園グラウンドをはじめ9箇所あります。ドクターヘリの運行時間は、8時30分から日没30分前となっています。また、雨天等の気象状況により運行出来ない場合もあります。

【参考】出動要請基準

- ① 生命の危険が切迫しているとき、又はその可能性があるとき。
- ② 重傷患者であって、搬送に長時間を要するとき。
- ③ 特殊救急疾患の患者（重症熱傷、多発外傷、指肢切断等）で搬送時間の短縮が必要なとき。
- ④ 救急現場で緊急診断処置に医師を必要とするとき。



【杉 本】 人家・山林火災等における地元消防団との連携・課題等があればお願いします。

【三星消防長】 消防団の皆様は、即時対応力・要因動員力・地域密着力があり、まさに地域防災力の中核であり、厳しい状況の下でも命令を受け、組織的な活動が出来ることから頼もしい存在であります。夜警や火元査察の防火活動をはじめ、あらゆる災害活動に尽力いただいておりますが、今後は機会ある毎に常備消防と消防ポンプ等を活用した中継訓練や放水訓練、救助訓練等で連携を図り、地域の防災力の向上に努めたいと思います。

【杉 本】 将来九州中央道の「日之影～高千穂」間の長大トンネル等に於いて想定される、極めて高度かつ困難な救助活動等の備えを伺います。

【三星消防長】 西臼杵郡内には、国道・県道をはじめとして、多くのトンネルがあります。このトンネル内の交通事故等における人命救助や消火活動は、煙や熱が発生するとともに、視界が悪いことから非常に困難な活動になりますが、日頃から照明や空気呼吸器等の救助資機材、あらゆる装備の取扱い訓練を実施しまして災害に対応して参ります。また、トンネルに関係する関係機関と連携した訓練や情報の連絡体制等の強化に努めます。
(広域農道の「神の里トンネル」については、開通前の4月22日(金)に、西臼杵支庁、高千穂警察署、消防署、消防団と連携した訓練を実施予定です。)

【杉 本】 最後に町民の皆様コメントがあれば

【三星消防長】 最近、異常気象と思える災害が多発しています。特に、局地的に集中して雨が降り、洪水や土砂災害が多発し大きな被害をもたらしています。日頃から、避難場所や避難経路の確認、防災備品の準備・点検をお願いします。また、高齢者のいる家庭や、一人暮らしの家庭、近所に声を掛け合い「助け合いの精神」で防災への意識を高めていただきますようお願いします。なお、救急講習会等のご希望があれば、お気軽に声を掛けて下さい。

